

広島大学における 学内刊行物の発信強化

広島大学図書館

川村 拓郎

この発表について

- 内容

- “機関リポジトリ担当者の視点”で「機関リポジトリを活用した本学の刊行物発信強化」についてお話しする

- 目的

- 「機関リポジトリを活用した学内刊行物の発信強化」について事例報告すること
- 話題提供

広島大学学術情報リポジトリを活用した 学内ジャーナルの国際発信力強化

リポジトリは、CiNiiなど各種データベースへのデータ提供などにより、研究成果の視認性向上に有効な仕組みです。

ライティングセンターでは、このリポジトリを通じて学内ジャーナルの国際発信力強化を進めています。

1

英文抄録付与支援

リポジトリへの登録を条件に学内ジャーナルへの英文抄録付与に関する**校正費用**を全額支援します。

www.hiroshima-u.ac.jp/intlaffairs/gakunaihakkou/

2

電子ジャーナル プラットフォームの提供 (無料)

リポジトリへの登録情報を利用した電子ジャーナルページを**無料**で作成します。

ir.hiroshima-u.ac.jp/page/ejournal/

3

DOIの付与 (準備中)

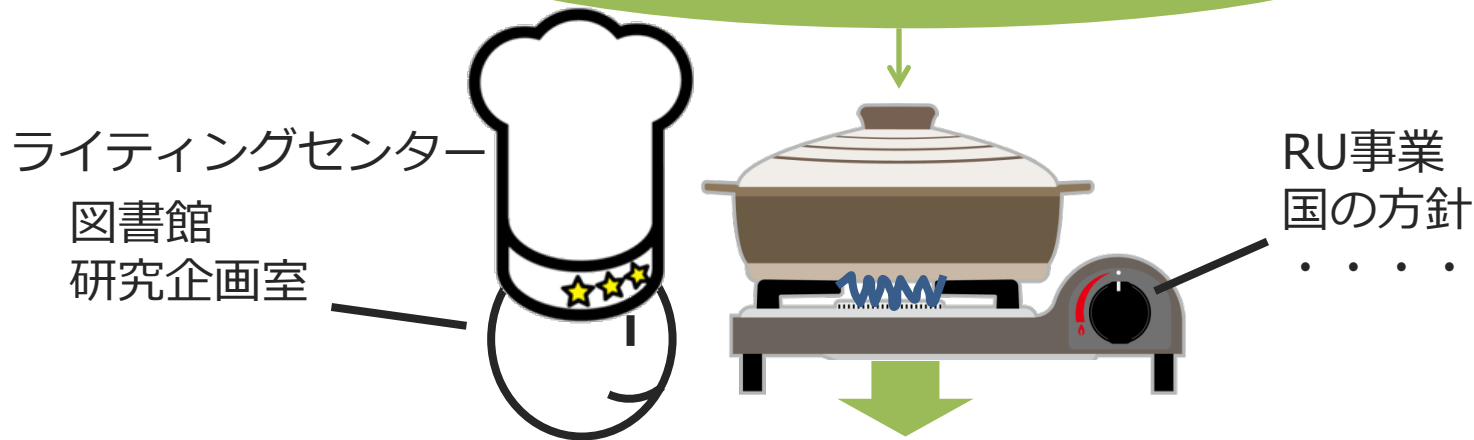
リポジトリへ登録された論文などへ、学術分野で世界的に用いられている識別子であるDOIを付与することにより、**恒久的**なアクセスが可能になります。

期待される効果

学内ジャーナルのオンライン視認性向上
各種エンジンにインデクシングされることによる研究成果の利活用促進
Web of Science、SCOPUS等 学術文献データベース採録へのステップ

英文抄録付与支援

全学的課題：“国際発信”



＜H26.9.24 研究推進機構会議での了承事項＞

1. 本学で発行している紀要などの和文学術雑誌は、英文抄録を付し、学術情報リポジトリに登録する。

2. 抄録の英文校正費全額を補助する。但し、学術情報リポジトリに登録しない場合は補助の対象としない。

※刊行経費が学内予算による学術雑誌（紀要等）は、上記について必須とする。

※刊行経費を会費等で賄う学術雑誌（研究会誌等）は、上記について推奨とする。



広島大学フランス文学研究

『広島大学フランス文学研究』は、広島大学フランス文学研究会会員の研究成果発信の場であり、1982年以来、年1回刊行されている。

ISSN :0287-3567

発行元:広島大学フランス文学研究会

雑誌トップ

- 33号 (2014-12-25)
- 32号 (2013-12-25)
- 31号 (2012-12-25)
- 30号 (2011-12-25)
- 29号 (2010-12-25)
- 28号 (2009-12-25)
- 27号 (2008-12-25)
- 26号 (2007-12-25)
- 25号 (2006-12-15)
- 24号 (2005-12-25)
- 23号 (2004-11-15)
- 22号 (2003-11-15)
- 21号 (2002-11-15)
- 20号 (2001-11-15)
- 19号 (2000-11-15)
- 18号 (1999-11-15)

梅本洋一と映画

Yoichi Umemoto et le cinéma
白石 敬晶

PP. 1 - 11

連載から書籍へ：連載版『ルーゴン家の運命』(1870-1871)の校正からの考察

Du feuilleton au livre : Réflexion sur les épreuves corrigées de La Fortune des Rougon (1870-1871)
宮川 朗子

PP. 12 - 25

シャルル=ルイ・フィリップ『シャルル・ブランシャール』における「時間意識」と人物描写について

Description des personnages et temporalité dans Charles Blanchard
東海 麻衣子

PP. 26 - 36

» 総目次

電子ジャーナル(EJ)プラットフォーム



雑誌トップ

33号 (2014-12-25)

- 32号 (2013-12-25)
- 31号 (2012-12-25)
- 30号 (2011-12-25)
- 29号 (2010-12-25)
- 28号 (2009-12-25)
- 27号 (2008-12-25)
- 26号 (2007-12-25)
- 25号 (2006-12-15)
- 24号 (2005-12-25)
- 23号 (2004-11-15)
- 22号 (2003-11-15)
- 21号 (2002-11-15)
- 20号 (2001-11-15)
- 19号 (2000-11-15)
- 18号 (1999-11-15)

広島大学フランス文学研究 33号
2014-12-25 発行

連載から書籍へ：連載版『ルーゴン家の運命』(1870-1871)の校正からの考察

Du feuillet au livre : Réflexion sur les épreuves corrigées de La Fortune des Rougon (1870-1871)

宮川 朗子 広大研究者総覧

About This Article

抄録(他言語)

Zola est un écrivain qui publie la plupart de ses romans en feuilleton. Cependant, il n'est pas considéré comme feuilletoniste et réussit à laisser son nom dans l'histoire de la littérature française de la deuxième moitié du XIXe siècle. Cette reconnaissance est partiellement dû à la version livre de ses romans que l'écrivain a élaborée à partir de la version feuilleton.

La Fortune des Rougon est l'exemple le plus visible de cette élaboration. Dans le texte du feuilleton de ce roman, Zola marque plus de 230 fois, le signe de correction demandant de relier les paragraphes comme s'il voulait effacer une des caractéristiques importantes du roman-feuilleton dont les paragraphes sont souvent courts. De même, Zola supprime des détails concernant les liens familiaux des personnages et le rôle qu'ils jouent dans le roman pour que leur portrait soit moins net, ce qui différencie du personnage typique du roman-feuilleton qui est nettement manichéen.

Outre la suppression des éléments qui risquent d'être jugés comme feuilletonesques, Zola réécrit certains passages en discours indirecte libre et quelques scènes de la marche des républicains

この文献の参照には次のURLをご利用ください: <http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00036754>

本文ファイル
ELLF_33_12.pdf

総目次

Other Article

梅本洋一と映画

PP. 1 - 11

連載から書籍へ：連載版『ルーゴン家の運命』(1870-1871)の校正からの考察

PP. 12 - 25

シャルル＝ルイ・フィリップ『シャルル・ブランシャール』における「時間意識」と人物描写について

EJプラットフォーム

雑誌トップ

» 総目次

- 33号 (2014-12-25)
- 32号 (2013-12-25)
- 31号 (2012-12-25)
- 30号 (2011-12-25)
- 29号 (2010-12-25)
- 28号 (2009-12-25)
- 27号 (2008-12-25)
- 26号 (2007-12-25)
- 25号 (2006-12-15)
- 24号 (2005-12-25)
- 23号 (2004-11-15)
- 22号 (2003-11-15)
- 21号 (2002-11-15)
- 20号 (2001-11-15)
- 19号 (2000-11-15)
- 18号 (1999-11-15)
- 17号 (1998-11-15)
- 16号 (1997-11-15)
- 15号 (1996-10-31)
- 14号 (1995-10-31)
- 13号 (1994-10-31)

33号 (2014-12-25)

梅本洋一と映画

Yoichi Umemoto et le cinéma

白石 敬晶

PP. 1 - 11

連載から書籍へ：連載版『ルーゴン家の運命』(1870-1871)の校正からの考察

Du feuilleton au livre : Réflexion sur les épreuves corrigées de La Fortune des

Rougon (1870-1871)

宮川 朗子

PP. 12 - 25

シャルル＝レイ・フィリップ『シャルル・ブランシャール』における「時間意識」と人物描写について

Description des personnages et temporalité dans Charles Blanchard

東海 麻衣子

PP. 26 - 36

Roland Barthes : Le Degré zéro de l'écriture : 日本語翻訳とレアリテの対象化

Roland Barthes : Le Degré zéro de l'écriture : la traduction japonaise et

l'objectivation des réalités

中川 正弘

PP. 37 - 59

Les UDAGAWA : Genzui, Genshin et Yôan : leur vie, leur œuvre

Santoni, Jean-Gabriel

PP. 60 - 79

32号 (2013-12-25)

言語表現における外界と内界：ボードレールを中心に

Le monde extérieur et le monde intérieur dans l'expression verbale : autour de

Baudelaire

横山 昭正

PP. 1 - 24

アルベール・ベガン「不可視なるもの」をめぐる冒険：「ロマン的魂」とバルザック

L'aventure pour « l'invisible » d'Albert Bequin : « L'âme romantique » et Balzac

各巻号だけでなく
総目次も表示可能

EJプラットフォーム



本当に発信につながるの？

- Scopus採録指標

EJ表示

オンラインでの
入手可能性

英語
Webページ

査読方法

Webページの
クオリティ

編集方針

コンテンツの
クオリティ

英文抄録

定期的な刊行
(遅れがない)

編集者・著者の
地理的多様性

英文抄録

などなど・・・

(参考) <http://jp.elsevier.com/online-tools/scopus/content-overview#box-id-166911>

DOIの付与

DOIは
学術情報流通の基盤になる識別子

つまり,

発信強化の文脈でも
お知らせ・説明できる

周知

文書 (→発行団体)

Web (→皆様)

平成 27 年 10 月 X 日
広島大学学術情報リポジトリ利用の
刊行物担当者(差し込み印刷)

広島大学図書館長
寺本 康 俊

広島大学学術情報リポジトリに登録される学内刊行物への DOI 付与について (お知らせ)

この度、広島大学学術情報リポジトリへ登録された学術研究成果へ DOI (Digital Object Identifier) 付与が可能になりました。これに伴い、平成 27 年 11 月 2 日(月)より、順次、研究会誌等を含む学内刊行物掲載の論文などへ DOI 付与を行いますことをお知らせいたします。なお、DOI の付与は今後リポジトリへ登録する分だけではなく、これまでリポジトリにご登録いただいたものも対象となります。

DOI とは

- 学術コンテンツに広く用いられている識別子です。形式は以下のようになります。
"[機関(広島大学)に与えられた番号]/[機関で採番する文字列]"
- WEB 上での永続的なアクセスを保証する機能を持つものです。このため、コンテンツの引用時等にリンク切れを起こす可能性がなくなります。
- 科研費の報告書等にも記入欄があります。

DOI の付与により期待される効果

- 今後、DOI を基盤とした様々なサービスが生まれ、学術コンテンツが今まで以上に発見されやすくなる事が期待されます。

注意点

- DOI の形式は "10.15027/[リポジトリで自動採番する番号]" となります。
- 付与をする DOI はジャパンリンクセンターを登録機関としたものであるため、現在のところ、他の登録機関が提供するサービス(CrossCheck など)はご利用いただけません。
- DOI が付与されたコンテンツは原則、本文ファイルの取り下げや削除はできません。
- リポジトリで DOI が付与できないコンテンツ (J-STAGE・商業出版者等を通じて既に DOI が付与されているもの等) については DOI を付与しません。

【担当】
図書学術情報企画グループ 川村 (内線: 6228)
email: tosho-kikaku-jyoho@office.hiroshima-u.ac.jp

学術情報リポジトリ Institutional Repository

コンテンツの登録 | コンテンツの検索 | 広島大学の刊行物 | FAQ | リンク | ドキュメント

リポジトリ登録コンテンツへのDOI付与

広島大学学術情報リポジトリへ登録する一部のコンテンツには、DOI(digital object identifier)を付与することができます。

DOIは論文などの識別子として世界的に用いられているものであり、学術情報流通を支える基盤として大きな役割を果たしています。またWEB上での永続的なアクセスを保証するURLとなるため、コンテンツの引用時等にリンク切れを起こす可能性がなくなります。

リポジトリで付与するDOIの形式は「10.15027/[当館で付与する数字]」となります。なお、DOIの登録機関はジャパンリンクセンターですので、CrossRefが提供するサービス(CrossCheck, CrossMark など)の利用はできません。

学生・教職員の方

個別登録のコンテンツに対するDOI付与は現在準備中です。もうしばらくお待ちください。

学内刊行物発行団体の方

平成27年11月2日より、学内刊行物(報告書、紀要、研究会誌など)に掲載された各論文等にDOIの付与を順次開始します。付与は、今後リポジトリへ登録するものだけでなく、これまでリポジトリにご登録いただいたものも対象となります。

注意事項

DOIが有効になるまではリポジトリ登録後1週間程度の時間がかかります。

DOIが付与されたコンテンツは、原則として、非公開や削除を行えません。

DOI付与対象外のコンテンツには、DOIを付与しません。

周知の内容（概要）

- 「学内刊行物に順次つけていきます」のお知らせ
- 注意点
 - 原則，削除・非公開はできない
- DOIについて・メリット
 - 国際的な識別子なので流通に有益
 - 永続的なURLとしても機能する

広島大学学術情報リポジトリを活用した 学内ジャーナルの国際発信力強化

リポジトリは、CiNiiなど各種データベースへのデータ提供などにより、研究成果の視認性向上に有効な仕組みです。

ライティングセンターでは、このリポジトリを通じて学内ジャーナルの国際発信力強化を進めています。

1

英文抄録付与支援

リポジトリへの登録を条件に学内ジャーナルへの英文抄録付与に関する**校正費用**を全額支援します。

www.hiroshima-u.ac.jp/intlaffairs/gakunaihakkou/

2

電子ジャーナル プラットフォームの提供 (無料)

リポジトリへの登録情報を利用した電子ジャーナルページを**無料**で作成します。

ir.hiroshima-u.ac.jp/page/ejournal/

3

DOIの付与 (準備中)

リポジトリへ登録された論文などへ、学術分野で世界的に用いられている識別子であるDOIを付与することにより、**恒久的**なアクセスが可能になります。

期待される効果

学内ジャーナルのオンライン視認性向上
各種エンジンにインデクシングされることによる研究成果の利活用促進
Web of Science、SCOPUS等 学術文献データベース採録へのステップ